

# みんな みんな

特定非営利活動法人

せんだい・みやぎNPOセンター 事務局通信

2000年 11月1日 Vol. 18

## ネクスト・ステップNPO 「次世代のNPOのために」

NPO制度は、多くの欠陥をはらみながらも、ようやく離陸段階を迎えようとしている。多くの組織が、法人格を取得し、積極的な活動を展開し始めている。もちろん、NPO法によらない活動も、従来に増して、活発になっているように思える。

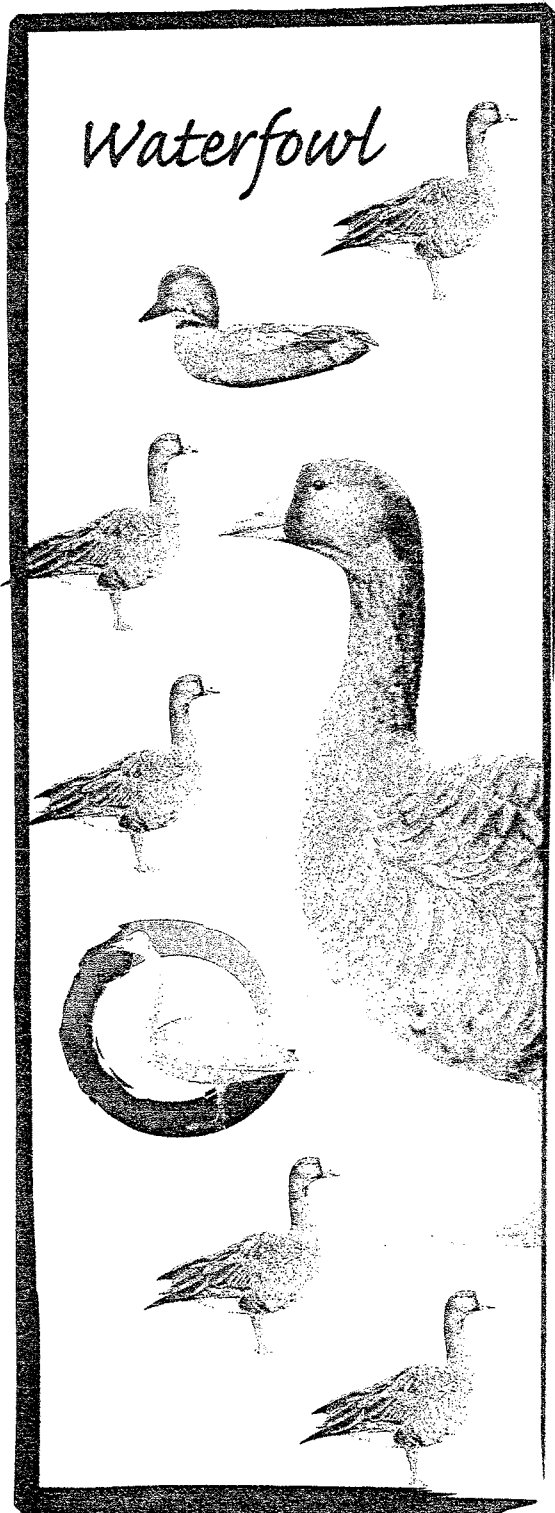
しかしこの時期にあって、改めて注意しておきたいのは、民間非営利の市民活動が、本来、果たすべき役割について自覚することが必要である。公共部門も民間営利部門も適切に対応できない領域が現に存在し、市民活動がその分野を担っていくことが求められている。この部門は、市民個々人の多様な価値観と、常に变化する社会的ニーズに答えることをその使命としている。そうした観点からすれば、最近のコミュニティ・ビジネスやコミュニティ・サービスへの注目は、市民活動の新たな事業形態を探究する動きとして評価できる。

しかし問題のもう一つの側面、つまり、新しい活動が求められる分野にだけでなく、これまでの市民活動やそれを支える市民のあり方に、反省と次への展開が求められているようにも思える。市民活動にとっては、常に自らの使命を見つめ直しバージョンアップに取り組み、自己再組織化を遂げていくことが、存続の前提条件であろう。これが出来なければ、恐らくNPOに未来はない。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 新川 達郎

### 内容

NPO実践講座、NPO支援税制  
サポート資源開発プロジェクト、私のNPO体験記  
部会報告、東北リレートーク、本、事務局活動報告  
催事案内、会員の方へ、みんな歳時記 ほか



これだけは知っておきたい

# NPO実践講座：連続開催スタート！

NPO法人化講座、NPOマネジメント講座、会計・税務講座など、これまでせんだい・みやぎNPOセンターは市民活動の現場に役立つ実践型の講座を数多く開催してきました。そうした実績をもとに、当センターではこの度講座企画の大幅な見直しを行ない、プログラムの内容を一新しました。

新たな講座企画では、3つのコース別にさまざまな企画と講師を取り揃え、NPOの立ち上げから運営、さらには時流にあわせたトピックの解説まで、総合的な内容をカバーする画期的なものとなりました。NPOの1から10まで、みなさんの細かなニーズに対応する長期連続講座です。複数の講座を受講される場合は、特典もご用意いたしました。会員のみならずご参加を心よりお待ちしております。

## ◆さまざまなニーズに対応！

「社会の中で、NPOはどのような価値が創造できるのか」「自分たちの組織を、どのようにして経営していくのか」・・・NPOの活動を進めていく人は、常に、この2つの問いについて明確なビジョンを持つことが求められます。それは、これからNPOを立ち上げようとする人も、すでにNPOを運営している人でも変わりはありません。そうしたビジョンを、はっきりと日常の活動を通して「形」にしていくためには、さらに「明確なミッションと戦略」「活発な理事会」「多様な資金源の確保」を団体の軸としながら、その他のさまざまな活動を組み合わせる必要があります。そしてさらに、社会全体の動きを見渡して、その行方を見極めておくことも、自分たちの活動の方向性を決める上で欠かせない要素になっていきます。あるアメリカの経済学者は、NPOのことを「愛を力に変えるシステム」と呼びました。しかし、「愛を力に」するためには、以上のようなさまざまな活動を効率よく組み合わせ、「思いを形に」して「人を組織に」していくことが重要なのです。

しかし、NPOがようやく地域社会の中で認知されてきた今の段階では、いざ、それを実行しようとしても、そのノウハウが一般的に共有されていることは少なく、多くのNPOが手探りの状態で日々の活動を続けているのが現状です。新しく始まる連続講座では、そうした状況にこたえ、実践的なノウハウの提供を中心として、NPO活動のあらゆる場面に対応する総合的なプログラムを用意しました。

## ◆起業・経営・パワーアップの3コース！

この連続講座では、受講される方の活動レベルや関心に合わせて3つのコースを設定。その中に、さらに細かな個別内容についての講座を設け、より細かなニーズに対応できるようにしました。

### □起業コース

主に、これからNPOを立ち上げようとしている方にお勧めするコースです。本コースは、

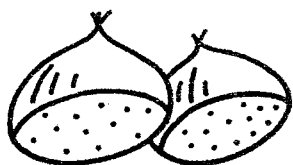
- ①NPOをつくる
- ②NPO法の概要と法人手続き
- ③法人登記、社会保険・労働保険の諸手続き、会計・税務・総務の基礎の3講座から構成されています。NPOを立ち上げる「初めの一歩」を応援するとともに、任意団体から一歩進めて法人として「起業」するまでをフォローする内容構成になっています。活動の継続性を高めるには、何よりもまず「基礎体力」をつけることが大切です！NPO経営の基本を、1からじっくり考えながら身につけてみませんか？

### □経営コース

主に、現在NPOの現場で活動されている方にお勧めのコースです。本コースは、

- ④理事会・事務局、組織と役割分担
- ⑤資金開発
- ⑥マーケティング、会員リクルートメント
- ⑦事業計画と事業評価
- ⑧企画書作成
- ⑨広報活動
- ⑩ボランティアマネジメント

の10講座から構成されています。NPOを運営する中で、日々ぶつかる疑問・課題の解決に直接役立つ、テーマ別の内容構成になっています。中でも特に注目！の講座は、まず、④理事会・事務局、組織と役割分担の講座。〔11月25日（土）13時～16時開催、参加費5,000円〕講師にNPOマネジメント講座などでも講師を務められた川北秀人氏（I IHOE人と組織と地球のための国際研究所）を迎え、理論的かつ実践的な組織マネジメントの手法を、短時間で集中的に学びます。また、⑤資金開発の講座〔12月13日（水）開催、参加費5,000円〕では、講師に青柳光昌氏（日本財団ボランティア支援部）を招き、助成財団の現場経験に基づく資金開発のノウハウを学びます。その他にも注目の講座が続きます。この機会をお見逃しなく！！



### いよいよ始動！NPO活動 支援税制を考えるこの秋。

10月25日、ホテルメトロポリタン仙台で開催された「NPO議員連盟地方フォーラムin宮城」は、用意した200席が満席になった。NPOセクター・行政・議員といった参加者の熱気が立ち昇るなか始まったフォーラムの壇上には、NPO議員連盟の加藤紘一会長をはじめとする国会議員7名、東北のNPO法人パネリストが5名という、いずれもなかなか実現できない顔ぶれが揃うことになった。

さて、全国各地でいよいよ動き出したNPO税・法人制度改革。200人もの参加者があった25日のフォーラムは、まさにこの動きを全国的にアピールする出発点になった。この改革が実現できるかどうかは、まさにこのような市民の動き、つまりNPOにかかっている。

そこで、11月24日（金）には、税制見直しに向けて仙台・宮城発のNPOの声を届けるシンポジウムを開催する。10月25日のあの熱気をさらに増して、24日もぜひお出かけいただきたい。私たちが動くことで、国会も政府

### □パワーアップコース

本コースは、せんだい・みやぎNPOセンターが誇る豊富な理事の面々を講師として、現在話題になっているNPO関連のトピックについて解説するコースです。現在、開催が決まっているテーマは、

1. コミュニティービジネス
2. IT革命とNPO
3. 地域通貨

の3つですが、ほかに候補として企業とNPOの連携、行政とNPOなどを予定しています。幅広い分野で活躍しているせんだい・みやぎNPOセンターの理事陣。NPOを取り巻く社会環境を分析しつつ、新聞にも雑誌にもまだ書いていない、時代の最先端をゆく話題を直接、受講者の方々に提供いたします。NPOの未来を見定めるために、どうぞお気軽にご参加ください！

### ★特典★

- 会員の方は、参加費随時500円割引！
- 連続で、あるいは複数の講座を受講される場合は、1万円クーポンがお得です！（11,000円分あります）

## NPO法を変えるのは、わたしたちNPOです！

も動く。その確かな手応えは、先のフォーラムでのパネリストや参加者の意見を受け、各党のNPO支援税制案の変更を行なった党がある事からも証明される。NPO法は、私たちの声が政策に生かされる最も身近な法であることを24日のシンポジウムで実感してもらいたい。

■11月24日（金）午後6時30分～8時30分

■会場：仙台市戦災復興記念館

NPO法改正リミットまで、あとわずか。

緊急アクションプラン第3弾！

NPO/NGOのための税・法人制度改革

緊急シンポジウム

■講師：松原 明さん（C's=市民活動を支える制度をつくる会 事務局長）/宮城県生活・文化課NPO法人認証担当者（予定）

■参加費：1,000円（資料代含む）

## サポート資源開発プロジェクト 展開中！！

サポート資源開発プロジェクトは、当センターと企業・労働組合・協同組合などが連携・協働して、NPOサポートのための新しい資源提供システムを開発することを目的に、日本財団の助成を受けて2000年4月にスタートしました。現在、30社以上の方々にご参加いただきながら、研究会・ワーキンググループなどの場でシステム開発を進めています。

月例の研究会では、外部から講師の方をお呼びしてお話をお聞きしたり、メンバー内でワークショップを行ったりして、サポートシステムについての研究を行っています。

これまでに、カリフォルニアのタイズ財団代表のドラモント・パイク氏や、名古屋の中部リサイクル運動市民の会代表の萩原喜之氏などの方々の講演会を開催してきています。

その月例研究会の中から、①物品・場所の提供システム、②IT（情報技術）関連システム、③資金調達（基金・寄付）関連システム、④人材・ノウハウ関連システム、の4つのワーキンググループが生まれ、それぞれの資源提供システムを現実化すべく、ミーティングを重ねています。

また当プロジェクトでは、11月の13日～20日にかけて、サンフランシスコ周辺へ海外

視察を行います。現地のNPO支援センターや、社会貢献に熱心な企業などの視察を行い、サポート資源開発の参考にするのが目的です。

このように、様々な研究・検討のプロセスを経た上で、来年2月15日（木）に、プロジェクトの成果を発信する全国シンポジウムを戦災復興記念館にて開催します。その後、サポート資源提供システムを本格的にスタートさせていきたいと考えています。ご期待を！

（高田 篤）

※サポート資源開発プロジェクト＝「地域におけるボランティア・市民活動サポート資源提供システムの開発」プロジェクト

## 私のNPO体験記

NPOセンタースタッフが感じ・体験した様々なNPOについてレポートします。

vol.5 高島紗綾

祈りと奉仕を行う人々。この出会いは私の小さな世界を壊し、足元を見つめる機会をくれました。

そして、これまでの生活を新しい眼で見回してみると今まで気がつかなかったことが見えてきました。自分の生活と環境、在日コリアンのこと、しょうがい者のこと等です。その中の一つに仙台で起きていたセクハラ裁判がありました。私はそれまで無関心を決め込んでいたその問題に、17歳の頃と同じ怒りとくやしさを覚え、気がつけば傍聴席でした。こうして裁判所に通うようになった私はそこでの思いを身近にいる人に語り始めたのです。

こうしてみると「喜怒哀楽」の感情をエネルギーに行動しているだけのような気もしますが、その底にはバングラデシユで、ある人から贈られた「Life is beautiful」という言葉に込められた思いがあるように思います。だからこれからこの「おもい」を大切にして、様々なことに挑戦していきたいと思えます。

そんな私が、無敵でなくなったのは20歳、バングラデシユを訪れた時でした。スラムで生活する人々、生命力溢れる子どもたち、伝統と闘う女性たち、そして

「子どもは嫌い」「自分にとってプラスにならない人とは関わりたくない」「今が一番楽しい」・制服を着た女子高生は無敵でした（いや、そう思い込んでいただけでした）。17歳の頃の私は「NPO」とは無縁でした。ただその時起きた米兵による沖縄の少女暴行事件を知って腹が立ち、怒りを覚えました。

**第46、47回セナードサロン報告**  
担当：安園起世

**部会報告**

**第2回 PONPO-NET**  
担当：中津 涼子

第46回セナードサロンは「マスコミの活用法」をテーマに、8月22日（火）、市民活動サポートセンターにて開催されました。新聞社の方からマスコミの現状や裏話など貴重なお話を聞くことができました。市民団体側からの「新聞社では、たくさんの情報の中からどのように掲載記事を選ぶのですか？」という質問に対しては、マスコミ側から「何かおもしろそうだ！と思うもの」「社会問題を捉えているもの」「大変なこと」「どこにもないもの」であったりします」とアドバイスされました。また、「行政とNPO」「異分野のNPO同志」「企業とNPO」の協働は取り上げられやすいとのことでした。

第47回セナードサロンは「行政との付き合い方」をテーマに、9月13日（水）、せんだい・みやぎNPOセンターにて開催されました。県、市それぞれの行政の方にご参加いただき、貴重なお話を聞くことができ、市民活動団体と行政との交流の場となりました。行政側から市民活動団体へのアドバイスを一部紹介します。

・次の年の事業計画は、半年前の6月前くらいから計画づくりを行う。/・市民からの要望は、どんどん言った方がよい。意見書や提案書として出すとよい（資料を添付するとgood）。/・活動を継続させるためには、行政からの補助に頼らず自分たちで資金づくりをしていくことが必要。

■第49回セナードサロン

テーマ「宮城県内のNPO中間支援組織交流会」（仮）  
12月15日（金）/19時～/当センターにて

今回は、企業とNPOの連携事例を2団体に紹介してもらいました。1つ目の事例は、アイセック仙台委員会とインターサポート社が実施した国際インターンシップ受け入れ事業について、報告書をもとにお話をいただきました。2つ目はソキウスせんだいより、身近な企業と連携したお中元・お歳暮の取り扱いについてと、団体が発行している通信の表紙レイアウトをプロのデザイナーが集まったNPOにお願いした事例をお話をいただきました。2団体からの事例紹介をうけて参加者から次のような意見が出ました。

□地域で活動するNPOと地域にねざしていこうと考えている企業の両者をつなぐキーワードは「地域“なのではないか。

□NPOが企業と連携することによって得られる効果として、資金源を得るということだけでなく、NPOという組織を理解してもらって啓蒙も含まれているのではないか。

□NPOも企業との連携をする必要性を考えていくべきではないか。

このような意見をうけて次回は、連携とビジョンをキーワードにワークショップを行い、企業とNPOの連携について考えてみようということになりました。

■第3回PONPO-NET  
11月9日（木）/18：30～  
東北エニコム㈱7階会議室

**改訂版 市民活動ハンドブック 10/20より絶賛発売中！**



■価格 700円 税込  
■発行 仙台市市民局地域振興課  
■編集 当センター

■販売所 仙台市市民活動サポートセンター

活動でネットワークを広げたい方、どんな市民活動があるか知りたい方、企業や行政にお勤めの方など様々な方面で活用することができます一冊です。尚、今回から有料になりました。

平成11年3月に初版を発行して以来、「市民活動に役立つ」「仙台のNPOの状況が分かりやすい」などと好評を得てきた「市民活動ハンドブック」の改訂版が仙台市より10月20日発行されました。改訂版では、掲載団体が150も増えて654団体になりました。また、団体によってはホームページアドレスも掲載されているので、知りたい団体の情報をどこにいてもパソコンさえあれば素早く知ることができます。

**仙台市内、654団体の  
メッセージを掲載！**

## 東北リレートーク

宮城県 古川市  
古川NPO支援センター

地域NPOの拠点として何ができるのか？今年6月に設立して以来、走りながら模索中です。市役所向かいに位置するこの場所は、古川市に提供していただいたものです。公募で集まった仲間と「古川NPO支援センター運営委員会」を組織して活動が始まりました。現在個人会員27名、団体会員6団体、それぞれの分野で活動しているメンバーが会員です。

今のところ、ミーティングルーム、印刷の支援、相談業務、各NPOの情報収集、発信が主な支援内容です。しかし、この運営委員会自体がNPO組織のため、運営していくには自助努力が欠かせません。資金調達事業、組織マネジメントと、直面する問題が迫ります。急務なのが広報活動です。実際、NPOって何？という方も多い中、何をしているところか分かりにくいとのご意見から「市民活動おーえんし隊」のサブタイトルもつけまし

た。広報紙を作成して活動内容を知らせることが先決、やっと創刊号ができます。また、古川でも自分の活動がNPOだと意識することがなかったり、組織の目的が曖昧なうちに法人を取りたいという団体が出ています。もっとNPOに対しての理解、学習の機会を持つ必要性を感じます。

「自分の住むまちを良くしたい」と活動する人々たちを支援するのが、このセンターの使命です。今後、活動を充実させるためには行政、企業のみではなくてはならないところ、この3つのパワーを調和させたいものです。古川NPO支援センターは、自己実現の場だけでなく、未来に夢を描く場として市民にいつも開かれた拠点でありたいと思っています。

副会長 小玉順子

### 「古川NPO支援センター」

〒989-6153宮城県古川市七日町3-29

電話 0229-22-2915

FAX 0229-22-9955

E-mail:npo@f6.dion.ne.jp

## BOOK

「八百万の死にざま」

ローレンス・ブロック 著 本体84円

「凍てついた夜」

リンダ・ラ・プラント 著 本体92円

2冊ともハヤカワミステリー文庫

私はそれなりのミステリーや冒険小説のファンである。それ以上に「活中」≡活字中毒である。それなりというものは、やたらに疲れ果てていても、布団に入る前には必ず読みかけの小説を開いてしまうとか、出張先でも書店や古書店に飛び込み、荷物が重くなるにもかかわらず、ついつい本を買ってしまおうというようなことだ。

そんな中で、現代ミステリーや冒険小説を読んでいると、ときどき「NPO」が登場して「オッ！」と思うことがある。

たとえば、ローレンス・ブロックの「八百万の死にざま」(ハヤカワミステリー文庫)には、アルコール中毒に苦しむ私立探偵マッド・スカダー

が、依頼された調査の合間に、しばしば酒の誘惑と闘うために、教会やビルの地下などで開かれている「断酒会」に出

席する様子が書き込まれている。興味深いのは、深夜にも必ず会が開かれており、アルコール中毒と闘う人々の支えになつていくことである。自分がアル中であるということ、をなかなか認めなかつたスカダーが、とうとう「私はアル中です」と断酒会で自らの病と対峙する結末は、なかなか胸を打つ。リンダ・ラ・プラントの「凍てついた夜」(ハヤカワ文庫)の女主人公(ハヤカワ文庫)の女主人公元刑事のロレイン・ペイジもアル中である。やはり断酒会に通いながら、捜査を続ける。家族も職場もすべてを失ったロレインが、苦しみながら立ち直っていく。一緒にリハビリセンターを出所したロレインとの友情もい。

どちらの作品も断酒会という自助グループの姿が自然に読む者のところに届く。NPOが当たり前前の社会の姿がそこにある。

(加藤 哲夫)

活動報告

●センター・事務局関連

- ・ 当センターお盆休み (8/13-19)
- ・ センターサロン「マスコミを使おう」(8/22 紅邑、遠藤、安国)  
「行政とのつきあい方」(9/13 紅邑、遠藤、安国)  
「企業とのつきあい方」(10/16 紅邑、遠藤)
- ・ 市民活動サポートセンター全体ミーティング(8/23・9/6・13・20・10/4・11・18)
- ・ サポートセンター資源開発プロジェクト  
第4回研究会(8/24 加藤、木村、紅邑、八木、高田、内海) 事務局ミーティング(9/18・27 加藤、紅邑、遠藤、高田、内海 10/6 加藤・紅邑・遠藤・高田・内海・青木) ワーキンググループ<物品・場所>(9/22 メンバー4名、加藤、高田 10/11メンバー4名・加藤・高田・青木) ワーキンググループ<基金・寄付・資金>(10/6 メンバー4名・加藤・高田・遠藤) ワーキンググループ<IT・情報>(10/10 メンバー4名・高田) ワーキンググループ<人材・ノウハウ>(10/10 メンバー4名・紅邑・高田) 第6回研究会(10/17 加藤・木村・紅邑・八木・内海・遠藤・高田)
- ・ 事務局会議(8/22・9/5 加藤・紅邑・遠藤・青木・小浜 9/19・10/3・6・19 加藤・紅邑・遠藤・高田・青木 10/5紅邑・遠藤・高田・青木)
- ・ 監査(8/24 長谷川 8/28 小島)
- ・ ホームページ会議(8/29 加藤・紅邑・高田)
- ・ 市民活動サポートセンター休館日・スタッフ研修(8/30・9/27)
- ・ PONPOネット/企業フィランスロビー部会(9/5 紅邑・中津)
- ・ 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター通常総会、記念講演、交流会(9/10)
- ・ 法務局 登記変更申請(9/22 青木、遊佐)
- ・ 所轄庁 事業報告(9/26 青木、遊佐)
- ・ NPO法人化講座(9/28 紅邑・工藤・遊佐)
- ・ 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター第15回理事会(9/29) 第16回理事会(10/19)
- ・ 健康診断(10/3・4・6・13)

●NPO関連・他

- ・ 神戸市社会福祉協議会(8/25 加藤)
- ・ ワークショップ/暮らしの企画書、茨城NPOセンター・ commons(8/31 加藤)
- ・ 政策研究大学院大学(9/4 加藤)
- ・ デジタルコミュニティズ委員会(9/4・25 加藤)
- ・ 仙台生ごみネットワーク打ち合わせ(9/5 加藤)
- ・ 宮城県社会福祉協議会運営委員会(9/6 加藤)
- ・ まちづくり研究会(9/12・10/17 紅邑)
- ・ 介護系NPOパワーアップセミナー/主催:住友福祉事業団、日本NPOセンター、共催:当センター(9/15-16)
- ・ 北上フォーラム/いわてNPO-NETサポート(9/16 紅邑)
- ・ 第1回少子高齢社会専門委員会/東北経済連合会(9/19 紅邑)
- ・ 土木学会全国大会(9/21 加藤)
- ・ 大前研一の政策学校「一軒塾」(9/25 加藤)
- ・ 介護系NPO研究会 調査/日本NPOセンター(9/27-28 田尻・青木)
- ・ 企画力UP講座/みやぎボランティア総合センター 第1回(9/30 加藤)、第2回(10/14 加藤)
- ・ 「公的介護保健導入に伴うNPO支援プロジェクト~市民による地域福祉の環境整備事業~」委員会/実施主体:住友生命社会福祉事業団、日本NPOセンター、大坂ボランティア協会・NPO推進センター、ひろしまNPOセンター、当センター(10/4 加藤)
- ・ 介護保険研究会/日本NPOセンター(10/5 加藤)
- ・ 評価システムフォーラムin横浜 公開討論会/共同研究:NPO 研修・情報センター、IHOE、コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」、まちづくり情報センターかながわ、地球環境パートナー

- シップオフィス、東京ボランティア・市民活動センター、当センター(10/7 加藤・紅邑)
- ・ NPOパートナーシップ情報センター構想推進委員会/東京(10/10 加藤)
- ・ デラウェアNPOネットワーク(10/10・18 紅邑)
- ・ シニアのためのネットワーク仙台 ぼけっと・はうす講演(10/12 加藤)
- ・ ファシリテーター養成講座/日本財団(10/16 加藤)

●自治体関連

- ・ 宮城県女性人材開発(8/19 紅邑)
  - ・ 香川県高松市講演&ワークショップ「高松市民活動団体と行政との協働づくり委員会」(8/21 加藤)
  - ・ 市民版環境ISOモデル事業/市 環境局環境計画課(8/23・9/19 遠藤・加藤)
  - ・ アレマ隊打ち合わせ/市 廃棄物管理課(8/23 加藤・紅邑)  
アレマ隊養成講座/市 廃棄物管理課(9/3 加藤・紅邑)
  - ・ すくすく市民プロデューサー養成講座 第2回(8/26 紅邑・田中) 第3回(9/30 紅邑・田中)/主催:宮城県 教育委員会生涯学習課 青少年育成班
  - ・ 仙台市都市計画審議会/市 都市計画課(8/28 紅邑)
  - ・ 福島自治研修所(8/28 加藤)
  - ・ まち美化ネットワーク/市 廃棄物管理課(8/29 加藤・紅邑)
  - ・ 環境教育・学習プラン策定ワーキンググループ ワークショップ 第1回(9/22 加藤・紅邑) ワークショップ第2回(10/12 加藤・紅邑)/市 環境局環境計画課
  - ・ 環境学習リーダー養成講座/市 都市計画課(9/2 加藤・遠藤)
  - ・ 滝野川保険センター講演(9/4 加藤)
  - ・ 第4回東北六県行政課題研修(県・市町村)/東北自治研修所(9/12-14 加藤・紅邑)
  - ・ みやぎNPOプラザ中間報告(9/14 加藤、山田)
  - ・ 大規模事業評価委員会/宮城県(9/14 紅邑)
  - ・ 角田まちづくりプロデューサー養成講座(9/28 加藤・遠藤・青木)
  - ・ 秋のボイ捨てキャンペーン/市 環境局廃棄物管理課(10/1)
  - ・ ボイ捨てキャンペーン 宮城教育大学付属中学校ワークショップ(10/4 紅邑)
  - ・ クリーン仙台推進員グループワークショップ 第3回/市 環境局リサイクル推進課(10/4 加藤)
  - ・ 社会教育委員会/仙台市(10/10 紅邑)
  - ・ 仙台市職員研修所「パートナーシップ基礎講座」(10/18 紅邑・遠藤)
- 取材・ヒアリング・相談
- ・ NPO連絡会 青木さん来訪(8/22)
  - ・ 仙台にLRTを走らせる会 阿部さん相談(8/28 青木)
  - ・ 福岡市 視察(8/31 紅邑)
  - ・ NEC 浜田さん来訪(9/1 加藤)
  - ・ 宮城県保険福祉部長寿社会政策課 岡田さん来訪(9/5紅邑・青木)
  - ・ 東北マンション管理組合連合会 木村さん相談(9/5 青木)
  - ・ エンジニアリング振興協会視察(9/7 加藤)
  - ・ 草津コミュニティ財団視察(9/12 紅邑)
  - ・ 中央大学 広岡ゼミ生視察(9/13 青木)
  - ・ 豊中市役所 大中さん視察(9/14 紅邑)
  - ・ 庄子さん、市情報統計課 菊地さん来訪(9/20 加藤)
  - ・ 宮城労働金庫 北さん、原さん来訪(9/21 加藤)
  - ・ デラウェア大学 ホフマン氏来訪(10/2 加藤・紅邑)
  - ・ 郵政省 安井さん、小松さん来訪(10/13 加藤)
  - ・ アイセック 臼井さん、黒松さん相談(10/13 高田)
  - ・ カナンNPO研究会 男沢さん相談(0/16 紅邑)
  - ・ 心の図書館 五十嵐さん来訪(10/17 青木)
  - ・ 河北新報 菊地さん取材(10/17 加藤)

サポート・ご協力 ありがとうございます(敬称略)

●平成12年度会員！(振込順 9/11~10/27)

(新規)関西学院ヒューマンサービスセンター、まちづくり政策フォーラム、及川英俊、心の図書館

(継続)長寿社会文化協会東北ネットワークセンター、藤田佐和子、宮田猪一郎、仙台生ごみリサイクルネットワーク、佐野章二、仙台青年会議所、天田範子、横田重俊、仙台都市総合研究機構、上田良光、テレカボランティアの会、渡辺雅昭、三浦隆弘

●事務局ボランティアスタッフ(随時来訪 8/12~10/19)(五十音順)

(定期)太田勇樹、緒方布美子、佐藤聡子、清水菊男、細野泰志、本郷正武、吉田久美、

(不定期)笠田篤郎、鈴木 格、登坂宗太

(スポット)中央大学広岡ゼミ生10名(大川千賀子、川口毅、塩谷友貴、助松隆男、鈴木香織、塚田愛希、根元幸治、原田隆子、本山将英、山長史博)

●企業協力 東北エニコム(PONPO-NETの会議室を無料提供)、岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて)、富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)、ライズ(撮影)、ホテルメトロポリタン仙台(NPO議員連盟の会場を社会貢献価格にて)

催しのご案内

●介護系パワーアップ講座

日時：11月10日(金)~11日(土)

会費：3,000円

開場：SS30住友生命仙台中央ビル7F第2会議室

講師：山岡義典日本NPOセンター事務局長

妻鹿ふみ子ボランティアマネジメント研究所

加藤哲夫当センター代表理事

●NPO/NGOのための税・法人制度改革 緊急シンポジウム

日時：11月24日(金)18時30分~20時30分まで

参加費：3,000円、会員2,500円

会場：仙台市戦災戦災復興記念館5階

●セナードサロン

テーマ：宮城県内のNPO中間支援組織交流会(仮)

日時：12月15日(金)19時~ 参加費：500円

場所：せんだい・みやぎNPOセンター

●NPO実践講座

講師・川北秀人氏IHOE/テーマ「理事会・事務局・組織と役割分担」

日時：11月25日(土)13時~16時/参加費：5,000円

講師・青柳光昌氏日本財団ボランティア支援部/テーマ「資金開発」

日時：12月13日(水)18時30分~21時/参加費：5,000円

会員の方へ

■入会申込書の書き換えのお願い

当センターでは昨年の法人化に伴い、会員の皆様のニーズを知りサービスに生かしていくために、入会申込書の書き換えをお願いしております。入会申込み書が同封されましたら、書き込みの上、FAXか郵送でお送り下さい。

■E-mailを教えてください。

様々な情報の受信で、今後E-mailを活用したいと考えています。アドレスをお持ちの方は「minmin@jca.ax.apc.org」までメールをいただけますでしょうか。個別にニーズにあった情報をお送りできるようにしたいと考えています。

■FAX番号を教えてください。

大切な情報を素速く会員の方に手軽に送るために「FAXみんな」をお送りしています。前はお持ちでなかった方、FAXみんなが届いていない方、ぜひお知らせください。

●シーズへの緊急募金に8万2千円集まる！

通常総会や当センターへ訪れた方、スタッフなどから集められた募金8万2千円をシーズに振り込みました。NPO支援税制実現のための活動費用として活用されます。シーズでは引き続き募金を受付中。続けて御支援ください。TEL03-5227-2008

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大野2-6-27 岡元ビル4F

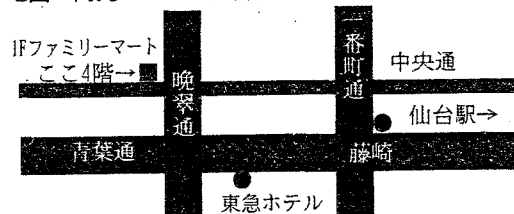
tel 022-264-1281 fax 022-264-1209

E-mail minmin@jca.ax.apc.org

http://www5a.biglobe.ne.jp/~minminHP/

大好評！ホームページ！更新中！

●地図 岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15~20分



みんな編集後記

■「生加藤絃一を見に25日は参加します。」こんなメールが届いた。こういう動機でも、フォーラムに足を運んでくれるのは嬉しい。当日の会場は満席、スタッフは2時間立ちっぱなしだった。議員の皆さんは「立ち見も出るほどだった」と喜んでた。(紅邑) ■ここ3年ほどは「医者いらず」ですごしてきた私。しかし、秋になってからは自宅近くの病院へ毎週通うことに…。「病気なんて気合で治してやる！」と思っけていても、結局は山ほどの薬に頼る今日この頃。健康管理を見直さねば。(工藤) ■10月末山麓に出かけたら、カメムシが大量発生していた。壁に、部屋にぶんぶん飛んで…。御存じの通りつづすと強烈な臭いを発するだけに避けたい昆虫であるのだが、このムシが多い年の冬は大雪なのだそう。さて、今シーズンの雪の具合はいかに。(遠藤) ●みんな編集部にご感想を！